

全国学力・学習状況調査の結果について

4月19日に全国学力・学習状況調査が行われ、本校でも6年生が国語、算数、理科の問題、生活についての質問紙調査に取り組みました。

国語では、公園をきれいにするアイデアを出し合う対話文を読み、指定された条件を踏まえながら自分の考えをまとめる記述式問題、叙述を基に登場人物の関係を捉えたり、物語の全体像等を具体的に想像したりする問題、漢字の書き取り、自分の考えを条件に合わせて記述する問題等が出されました。

算数では、文章や線分図、計算式、グラフ、表を的確に読み取り、課題を解決する力が問われる問題が出題されました。設問2では、果汁入りの飲み物の濃度（果汁の割合）が、量を半分にしても変わらないことを理解できているかが問われました。また、設問4では、プログラミングについての出題がありました。正三角形を作図するプログラムの誤っているところを見つけて正しく直す問題、ひし形を作図するプログラムを選択する問題が出されました。

理科では、ナナホシテントウ、モンシロチョウ、ショウリョウバッタ、ゲンゴロウ、シオカラトンボ、カブトムシの幼虫と成虫の食べ物、変態についての出題、物質の三態、太陽の動きと気温の変化といった科学事象に関する問題づくり、問題を解決するための実験方法の選択、実験結果の考察についての出題がありました。

問題は、国立教育政策研究所のホームページで公開されています。

各教科の平均正答率 <令和4年度>

	国語	算数	理科
全国（公立）	65.6	63.2	63.3
三重県（公立）	64.5	62.2	62.6
鈴鹿市（公立）	63	62	63

上のような調査結果を基に、本校学力向上推進部会が中心となって、本校の学力状況について考察し、今後の全校での国語、算数における学力向上の取組内容をまとめましたので、お知らせします。

◆国語◆

- ・全体として、粘り強く取り組み、頑張って書こうとする姿勢は見られたが、以下の様子が課題として明らかになった。

▲ 問題を最後まで読んでいない。(文末まで理解できていない。)

➡ いくつかの条件に合わせて文章を作る問題で、どれか一つの条件を忘れて書いてしまう子どもが多かった。

➡ 1, 2, 3 と数字で答えるところをア, イ, ウと答えた児童も多かった。

▲ 敬体と常体が混じった文章が見られた。

※ 語彙を増やし、書く活動・読む活動を日常化する必要がある。

①: 視写, 新聞を読んで考え, 書く活動を実施(鈴鹿市教育委員会教育指導課が作成したワークシート, 中日ウィークリー, 読売新聞ワークシート通信等の活用)

②: 読書指導(2, 3 学期貸出冊数 1 人 35 冊以上。図書館祭りへの積極的参加。担任等の Book トークの実施。)

※ 言葉の意味を用いて緻密に読み進めたり, 仲間と議論したりすること(言葉の意味, 言葉と言葉の関係を用いた論理的な思考)が必要である。

①: 言葉を根拠とした追求(追究)の授業づくり

②: 全員参加(児童全員が自分の考えをもち, 伸び伸びと表明し, 他者の意見との相違を喜んで, 問いを作り, 論証を行う姿)の授業づくり

⇒ 5 月 16 日, 10 月 6 日校内研修(中学校区の学校へも公開)
大学教員を講師に招聘し, モデルとなる授業を参観し, 共有した。

◆算数◆

- ・「表とグラフ」「四則計算」「最大公約数」の内容については十分に理解がされているが、他の領域や「思考・表現」「学びに向かう姿勢」に課題がある。

▲ 記述問題で、条件が満たせていなかったり、文章表現が不適切だったりする。

▲ 問題文から求められていることや条件を的確に理解できていない。

➡ 60°回転と 120°回転の違いがしっかりと捉えられていない。(空間認知)

➡ 割合の意味が明確に理解できていない。(割合, 比例関係)

※ めあてとふりかえりを意識した板書とノート指導を全校で徹底する。
(各学年で内容を確認し, 研修部で実施状況の点検を行う。)

※ 公式や解法を覚えるだけではなく, 公式, 解法を自ら考え, 仲間と議論する活動, 考えを書きまとめる活動を大切にしていくなが必要がある。

- ・ 他の児童の立てた式から, どのように考えたのかを言葉や文章で説明させる。(他者に説明する必然のある授業づくり)
- ・ 授業終末の適用問題の解法を文章や式, 図を用いて説明させる。
(モデル文の提示, テープ図・線分図の活用)
- ・ 日頃から, タイマー等を用いて, 時間内に考えを書いたり, まとめたりする活動を授業に位置付ける。

<授業の板書を手掛かりに, 適用問題をノートに文章, 式, 図を用いて書きまとめる。>

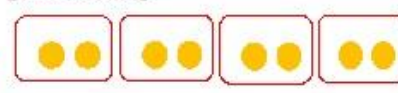
(例) 2年生のかけ算

【授業】



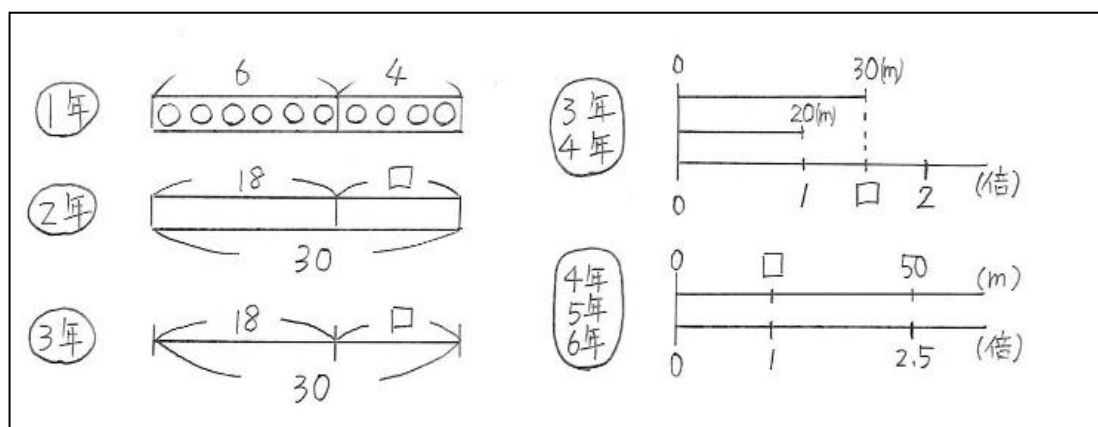
みかんが1ふくろに3こずつ入っていて、
2ふくろあると、
ミカンの数は、 $3 \times 2 = 6$ で、
全部で6こになります。

【適用問題】



みかんが1ふくろに2こずつ入っていて、
4ふくろあると、
ミカンの数は、 $2 \times 4 = 8$ で、
全部で8こになります。

<学年に応じたテープ図, 線分図の活用>



三重県教育委員会の学力向上パンフレットを次ページ以降に紹介します。
ぜひお読みいただき, ご家庭でもご活用いただければ幸いです。

学校・家庭・地域が一体となって 子どもたちの学力を育んでいきましょう

令和4年4月に小学校6年生、中学校3年生を対象に実施されました「全国学力・学習状況調査」結果の概要をお知らせします。

本年度の全国学力・学習状況調査は、1教科（中学校数学）で全国の平均正答率を上回りました。国語では小中学校ともに質問の意図を捉えて自分の考えをまとめること、算数では割合の意味の理解等に課題がみられました。

子どもたちに確かな学力が確実に育まれるよう、引き続き、きめ細かな指導に取り組んでいきます。

＜教科に関する調査 各教科の平均正答率＞ ※（ ）の数値は、全国平均との差を示します。

小学校			中学校		
国語	算数	理科	国語	数学	理科
64.5%(-1.1)	62.2%(-1.0)	62.6%(-0.7)	68.2%(-0.8)	51.9%(+0.5)	48.1%(-1.2)

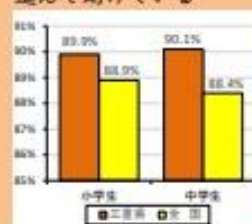
子どもたちに挑戦心や相手を思いやる気持ちが育まれています

児童生徒への質問では「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」「人が困っているときは、進んで助けている」の質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は全国平均を上回っています。

自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている



人が困っているときは、進んで助けている



学習習慣等に課題が見られます

全国と比較して平日のテレビゲームや携帯電話等の使用時間が長く、学習時間や読書時間が短い状況が続いています。 ※学習習慣等に関する調査結果は、最終ページに掲載しています。

学習習慣を身に付けるために

子どもをほめる機会を！

- ・子どものやろうとする意欲や取り組んでいる過程のがんばりを認め、励まし、ほめていきましょう。
- ・「なぜ？」「どうしてそうなるの？」などの声かけが、疑問に思ったことを調べる習慣につながります。

一緒にルールづくりを！

- ・子どもたちが、ゲームやスマートフォン、インターネットを適切に使用できるよう、子どもたちと話し合い、使用時間などの家庭でのルールづくりに取り組んでいきましょう。
- ・家庭での学習時間を確保しましょう。学習時間にはテレビを消すなどの環境づくりも大切です。

早ね早おき朝ごはん

- ・毎日同じ時間に起床・就寝するなど、規則的な生活習慣を身に付けることが大切です。
- ・「おはよう」から始まり「いただきます」「行ってきます」と、一日を気持ちよくスタートさせましょう。

子どもたちの学習状況や、家庭学習を習慣化するためのアドバイス、家庭で活用できる資料を紹介する動画を掲載！

みえの学力向上
県民運動HP



三重県教育委員会

小学校算数

日常の場面に対応させながら割合について理解したり、図や式などを用いて基準量と比較量の関係を表したりすることができるよう指導することが求められています。

◆求められている力

数量が変わっても割合は変わらないことを理解しているかどうかをみる。

正答率 18.7%(全国差-2.7)

無解答率 0.8%(全国差-0.3)

小学校算数 2 (3)

2

果汁入りの飲み物について考えます。

- (3) りんごの果汁が20%ふくまれている飲み物が500 mLあります。
この飲み物を2人で等しく分けると、1人分は250 mLになります。



500 mL
果汁 20%



250 mL 250 mL

250 mL の飲み物にふくまれている果汁の割合について、次のようにまどめます。

250 mL は、500 mL の $\frac{1}{2}$ の量です。

このとき、

上のアにあてはまる文を、下の 1 から 3 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合も $\frac{1}{2}$ になります。
- 2 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合は2倍になります。
- 3 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になっても、果汁の割合は変わりません。

◆課題

日常の具体的な場面に対応させながら、飲み物の量に対する果汁の量の割合が、飲み物の濃さを表していることを理解することに課題があります。

◆指導のポイント

日常生活の事象において、二つの量の関係を表す数である割合が変わらないことを豊富に体感させることが大切です。

例えば、一つの平ゴムから、長さの異なる二つの平ゴムを切り取ったとき、元の長さは異なっているが、伸び具合は同じであることを体験したり、二色の絵の具を混ぜて新しい色を作るとき、同じ色をたくさん作るためには、二色の絵の具を初めと同じ割合にして混ぜればよいことを体験したりしておくことが考えられます。このような体験によって、割合の学習の際、数や式を日常場面に関連付けて理解できるようにすることが大切です。

小学校理科

習得した知識を、次の学習や生活などに生かすことができるようにすることや、科学的な言葉や概念を理解して説明できるようにすることの重要性について意識して授業を改善することが求められています。

◆求められている力

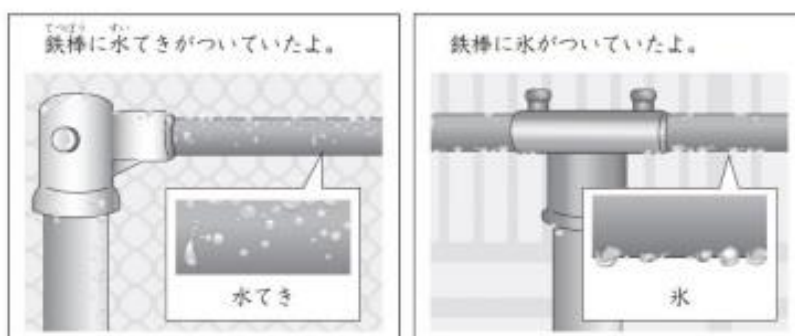
水是水蒸気になって空気中に含まれていることを理解しているかどうかをみる。

正答率 56.9% (全国差-5.1)

無解答率 6.2% (全国差 0.0)

小学校理科 4 (4)

- 4 (4) よしこさんは、インターネットを使って、各地の友達から朝のようすの写真を送ってもらいましたが、その中で2枚の写真が気になりました。



よしこさんは、2つの現象を調べて、次のようにまとめました。

にあてはまることばを書きましょう。

朝、鉄棒に、水てきや氷がついていた。気温が下がり、空気中の が冷やされて、水てきや、水てきになったあと氷になる現象が見られた。左の写真は「つゆ」、右の写真は「とうろ」というらしい。気温のちがいで、異なる現象が起こることがわかった。

◆課題

水が水蒸気になって空気中に含まれていることを日常生活に関連付けて理解することに課題があります。

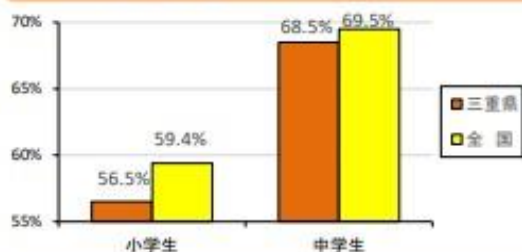
◆指導のポイント

指導に当たっては、問題解決を通して習得した知識を活用して、学習の成果を日常生活との関わりの中で捉え直す場面を設定することが大切です。例えば、水の状態変化についての問題を見だし、問題を解決する中で習得した知識を活用して、冷たいコップに付着した水滴について、タブレット型端末などで動画や写真などを示し指さしたり線で囲んだりしながら、「コップの外側に付いた水滴は、空気中の水蒸気がコップの表面で冷やされて液体の水になったものと考えられます。しばらくすると水滴が消えたのは、水滴が蒸発して水蒸気になり、見えなくなったということが考えられます。沸騰しなくても蒸発するのが不思議だと思いました。」などと捉え直し、理解を深める学習活動が考えられます。

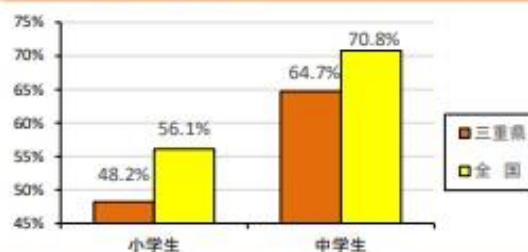
児童生徒質問紙調査から見える子どもたちの姿

学習習慣に関する状況

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。〔「1時間以上」と回答した児童生徒の割合〕



土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。〔「1時間以上」と回答した児童生徒の割合〕



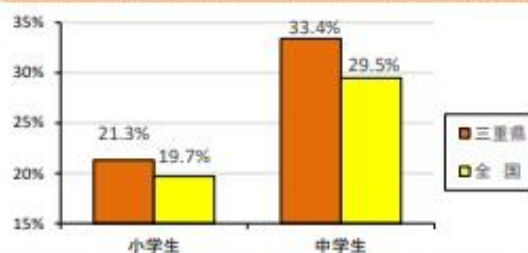
1日当たりの学校の授業以外の勉強時間について、「1時間以上」と回答した割合は小中学生ともに全国を下回っています。休日は、平日以上に全国との差が大きくなっています。子どもが主体的、計画的に学習できるように、学校・家庭・地域が一体となって、学習習慣の確立に向けて取り組む必要があります。

生活習慣に関する状況

普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。〔「3時間以上」と回答した児童生徒の割合〕



普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで SNS や動画視聴などをしますか。〔「3時間以上」と回答した児童生徒の割合〕



平日のテレビゲームの時間と、SNS や動画視聴などの時間について、「3時間以上」と回答した割合は、小中学生ともに、全国を上回っています。スマートフォンの使用等について家庭で話し合ってルールを決めて守るなどの自己管理能力を育て、生活習慣を確立していくことが大切です。

読書習慣に関する状況

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。〔「10分以上」と回答した児童生徒の割合〕



1日当たりの読書時間について、「10分以上」と回答した割合は小中学生ともに全国を下回っています。各校において、発達段階に応じて読書習慣を身に付けることができる取組を進めることが大切です。

参考資料

★全国学力・学習状況調査 報告書・調査結果資料
（国立教育政策研究所）
<https://www.nier.go.jp/22chousakekkahouku/>

＜編集・発行＞ 令和4年9月発行
三重県教育委員会事務局
学力向上推進プロジェクトチーム
TEL:059-224-2931
FAX:059-224-3023
E-mail:gakupro@pref.mie.lg.jp

「みえの学力向上県民運動」のホームページもぜひご活用ください。